

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 異なる学術領域の共通問題を発見する時系列ナレッジグラフ基盤の創出

2. 個人研究者名

桂井 麻里衣（同志社大学理工学部 准教授）

3. 事後評価結果

本研究は、学術情報をナレッジグラフで可視化することで、異分野にわたる学際的な研究テーマ発見を支援する技術の構築を目指している。

学術論文の引用関係や共著関係を用いたグラフは数多く研究されているが、それらでは異分野間の関係性はとらえられない。本研究では、論文タイトルやアブストラクトから理論・技術（シーズ）と対象課題（ニーズ）を抽出する手法や、背景/目的あるいは手法を説明している文を抽出する手法を開発し、各論文が用いている手法、対象としている問題、研究の目的などに着目したナレッジグラフや推薦システムの構築を達成した。

これらの成果は、要素技術を開発するだけでなく、それを応用したデモシステムを実際に構築してその有用性を示しており、さらに国際会議のデモペーパーなど多数の对外発表を行っている。独創的かつ実応用に近いシステムが構築されているため、今後様々な分野への展開や、実際のユーザのための実運用や評価など、学術界に対して大きな貢献が期待される。